

JOCジュニアオリンピックカップ

2026年U17,U20全日本レスリング選手権大会実施要項

1. 主催 公益財団法人日本レスリング協会
2. 主管 神奈川県レスリング協会 神奈川県高等学校体育連盟レスリング専門部
3. 後援 公益財団法人日本オリンピック委員会 神奈川新聞社 tvk 横浜市にぎわいスポーツ文化局
公益財団法人神奈川県スポーツ協会 公益財団法人横浜市スポーツ協会
全国高等学校体育連盟レスリング専門部 以上、申請中
4. 協賛 明治ホールディングス株式会社、
株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、フォーデイズ株式会社、
サントリービバレッジソリューション株式会社、一般財団法人東京スポーツ新聞格技振興財団、
辻・本郷 税理士法人、アシックスジャパン株式会社、株式会社ダスキン、日本航空株式会社、
三恵海運株式会社、ALSOK 株式会社、クリナップ株式会社、株式会社小泉、株式会社エアウィーヴ、
株式会社ドトールコーヒー、株式会社キッツ、株式会社シグマイン、
株式会社ピースマイルプロジェクト、富士電機株式会社、ココロカ株式会社、株式会社ライジング、
株式会社ペスカリッチ、株式会社東和エンジニアリング、カクシンググループ、
フェニックスビジネス株式会社、ライトキャピタル株式会社、昭和産業株式会社、
株式会社カミチクホールディングス
5. 期日 2026年4月25日(土)～26日(日)
6. 会場 横浜武道館 〒231-0028 横浜市中区翁町2-9-10 TEL 045-226-2100
7. 日程

4月24日(金)	※ 入館は関係者のみ。選手は入館できません。予備計量も出来ません。 ※ 監督会議については書面にて行います。
4月25日(土)	
7:30	体育館開館(選手・監督) 一般 09:00～
8:00～8:30	U20 メディカルチェック・計量 審判会議
9:50	開始式終了後、試合開始(終了予定19時)
10:00～	※各階級、決勝終了後表彰
18:00(予定)	表彰式(特別賞のみ)
4月26日(日)	
7:30	体育館開館(選手・監督) 一般 09:00～
8:00～8:30	U17 メディカルチェック・計量
10:00～	試合開始(終了予定16時) ※各階級、決勝終了後表彰
8. 競技規定
 - (1) UWW ルールによる。ただし一部(公財)日本レスリング協会が定めたものを適用する。
 - (2) 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦は行なわない。

9. 階 級 (全 40 階級)

- (1) U20 フリースタイルレスリング (10 階級)
50～57kg、61kg、65kg、70kg、74kg、79kg、86kg、92kg、97kg、125kg
- (2) U20 グレコローマンレスリング (10 階級)
50～55kg、60kg、63kg、67kg、72kg、77kg、82kg、87kg、97kg、130kg
- (3) U17 フリースタイルレスリング・グレコローマンレスリング (各 10 階級)
41～45kg、48kg、51kg、55kg、60kg、65kg、71kg、80kg、92kg、110kg

10. 参加資格 ・ 制限

- (1) 日本国籍を有する者とする。
- (2) 2026 年度(公財)日本レスリング協会の登録者とする。なお、セコンド (2 名以内) につく監督・コーチ等も同様とする。
- (3) 健康診断を受け健康であることが証明された者とする。また、引率者は選手のすべてに対して責任を負うものとし、事故の発生に備えて、2026 年度スポーツ安全保険等に加入しなければならない。
- (4) 【U20】
 - ① 2006 年 (平成 18 年) ～2008 年 (平成 20 年) 生まれの者 (20 歳～18 歳)。
 - ② 2009 年 (平成 21 年) 生まれの者 (17 歳) については (書式-1①) 保護者承諾書及び (書式-2) 医事証明書 (診断書) が必要。
 - ③ 高校生は JOC 杯ブロック予選 (U20) の各階級・各スタイルの優勝者とし、階級、スタイルの変更は不可とする。なお、出場辞退者が出た場合の繰り上げ出場は行わない。
 - ④ (公財)日本レスリング協会段位制度の段位を有する者とする。
 - ⑤ JOC エリートアカデミー所属の選手については別途出場を認める。
 - ⑥ 2025 年度天皇杯全日本選手権大会の出場資格者は、ブロック予選を免除し、別途出場を認める。但し、資格を獲得したスタイルの変更は不可、階級の変更は可とする。
- (5) 【U17】
 - ① 2009 年 (平成 21 年) ～2010 年 (平成 22 年) 生まれの者 (17 歳～16 歳)。
 - ② 2011 年 (平成 23 年) 生まれの者 (15 歳) については (書式-1②) 保護者承諾書及び (書式-2) 医事証明書 (診断書) が必要。
 - ③ 新高校 1 年生と中学生は、2025 年度全国中学生大会または東京都知事杯 U15 全国中学生選抜大会の、フリースタイルレスリング、またはグレコローマンレスリングの 1～3 位に入賞した者とし、階級の変更は可、スタイルの変更は不可とする。
 - ④ 新高校 2、3 年生は、JOC 杯ブロック予選 (U17) の FS/GR 合わせて各階級 6 名以内とし、階級、スタイルの変更は不可とする。なお、出場辞退者が出た場合の繰り上げ出場は行わない。
 - ⑤ 開催県については各階級、各スタイル 2 名以内とする。
 - ⑥ JOC エリートアカデミー所属の選手については別途出場を認める。
- (6) 過去に脳震盪、過呼吸等の診断を受けた者は診断書を提出すること。
- (7) 監督・コーチ等のエントリー人数 (ID 発行)

1 チームのエントリー数	選手 10 名以下	選手 11～20 名	選手 21 名以上
監督・コーチ数	2 名まで	3 名まで	4 名まで

- (8) 選手は、アンチ・ドーピング学習システム eラーニング「ADEL」修了証を、計量時に提示すること。提示の無い場合は出場することができない(16.参照)。

11. 表彰

- (1) 各クラス1位～3位の者に賞状・メダルを授与する。
- (2) 最優秀選手賞を1名に授与する。
- (3) 優秀選手賞を各部門(フリースタイルレスリング1名/グレコローマンレスリング1名)に授与する。

12. 申込方法

- (1) 各選手は1スタイル1階級に限る。また、締め切り後のスタイル・階級の変更は一切認めない。
- (2) 高校生、中学生の申し込み(U20、U17共)および参加料の振込みは必ず各都道府県単位で行うこと。その他の団体は所属毎に行うこと。
- (3) 参加申込みは日本レスリング協会のホームページまたは大会サイト(<https://kazu98.wixsite.com/joc2026>)より、書式をダウンロードし、下記あてにメールにて申込むこと。郵送での申し込みは受け付けない。
- (4) 申込先

エントリーファイル(excel)および振込確認書(pdfまたは画像可)を下記宛に送付すること

送信先：kanagawa.joc.info@gmail.com

※ 問い合わせについてはメールにてお願いいたします。

- (5) 申込締切り 2026年3月13日(金) 厳守
- (6) 参加料 7,000円
- (7) 振込先 中学生、高校生は必ず一括で都道府県名および申込責任者名で振り込むこと(所属ごとでは受け付けません)
大学、その他は、団体名および申込責任者名で振り込むこと。

指定銀行	横浜銀行 久里浜支店	口座番号	普通 6154902
口座名義	神奈川県レスリング協会 大会事務局 代表 長谷川 卓 (カガワケンレスリングキョウカイ タイジムキョク タイホウ ハセガワ スグル)		

13. 組合せ抽選

2026年4月4日(土) (公財)日本レスリング協会立会いのもと横浜市にて公開で行なう。

14. 備考

- (1) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側で行なうが、その後の責任は負わない。なお、選手は健康保険証を持参し参加すること。
- (2) 優秀選手の選考については、本大会の成績・試合内容を参考に強化委員会で選考し、理事会で決定する。
- (3) U20・U17ともに、世界選手権大会、アジア選手権大会への派遣の対象となり、海外遠征等の強化計画に参加できる。
- (4) U15とU17の両代表資格のある選手は、日本代表を兼ねて派遣されることはできない。

15. その他

- (1) 横浜武道館の付設駐車場は有料です。予約は出来ません。大型、マイクロバス等の駐車場はありません。
- (2) 観覧席をきれいに使用してください。会場に持ち込んだゴミ等は必ず持ち帰るようにお願いします。
- (3) 飲み物については、「ポット容器」で対応ください。体育館前と館内での調理及び鍋等の持込み・使用は禁止します。(館内のコンセントは、使用できません。)

16. アンチ・ドーピング

(公財)日本レスリング協会医事規定に基づく、ドーピングコントロールを実施する。事前に世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が提供するアスリート向けアンチ・ドーピング学習システム eラーニング「ADEL」を受講して修了証を計量時に提示してください。(<https://adel.wada-ama.org/learn>) 直前に「ADEL」を受講するとアクセス集中による障害が生じる場合がありますので余裕をもって受講してください。

「ADEL」受講にあたりましては、「ADEL ユーザー登録」の必要があります。別紙マニュアルに沿って進めてください。

1. 「ADEL」ウェブサイトへアクセスし「REGISTER」をクリックします。

<https://adel.wada-ama.org/learn>

2. ユーザー情報を入力

※全て英語での入力となります。

※言語を選択する必要があります。英語、フランス語、スペイン語のみですが、必ずどれかを選択してください。

2. ユーザー情報を入力 つづき

※「受講コースの言語」を選択、とありますので、ここで日本語を選択してください。

※引き続きマニュアルをご確認の上、受講、修了証を取得してください。

UWW 登録に必要なになるので、受講は以下のようにしてください。

①受講者は、毎年1回必ず受講する

②ADEL の登録はパスポートと同じ氏名表記で行う

③Sports は Wrestling (United World Wrestling) を選択

④Level in Sports は International-level athlete(competing internationally-Major Games)を選択

⑤国内レベルまたは国際レベルのコースを修了

※国際大会代表に選出された場合は、国際レベルでの受講は必須

⑥修了証の有効期間は、「大会参加初日の1年以内」の日付であること。

詳細は、下記を参照すること。

https://www.playtruejapan.org/entry_img/ADEL_20221111.pdf

◆国際レベルアスリート向け教育プログラム(日本語/ Japanese) |International-Level Athletes Education Program を受講する

<https://adel.wada-ama.org/learn/lp/100/guo-jireberuasurito-xiangke-jiao-yupuroguramu-ri-ben-yu-japanese>

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会とする。
- (2) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
- (3) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携行する。
親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出する。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出る。ドーピング検査会場において親権者の

同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。

- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (5) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- (6) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認する。

『 JOC ジュニアオリンピックカップ大会について 』

JOC ジュニアオリンピックカップ大会は、(公財)日本オリンピック委員会が実施する選手強化事業ジュニア対策の一環として、ジュニア競技大会の質的向上を図り、大会における優秀な選手を対象に表彰等を行うことにより、スポーツを通じ、オリンピズムを体現する人間力あふれる若者を育成するとともに、将来、オリンピック競技大会や世界選手権大会等において活躍が期待できるジュニア選手の発掘、

育成を図る。『JOC ジュニアオリンピックカップ大会事業実施要項より抜粋』